



もっとつながる。未来が動き出す。

2026年度 第1四半期決算について

(2027年3月期 第1四半期決算短信補足資料)

2026年8月5日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

<連結決算>

(単位：億円、%)

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	対前年		2026年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	4,270	4,244	△ 26	99.4	18,290	△ 168	99.1
(うち運輸収入)	2,273	2,327	54	102.4	9,460	△ 19	99.8
営業利益	633	559	△ 73	88.3	1,650	△ 330	83.3
経常利益	597	521	△ 75	87.3	1,450	△ 386	78.9
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	488	390	△ 97	79.9	1,000	△ 274	78.4

■ 決算のポイント

1. 概要

2. セグメント

・前年度の大阪・関西万博効果の反動や、人財関連経費の増等により、**6期ぶりの減収減益** (営業・経常利益)

・**モビリティ業**は、鉄道のご利用が堅調に推移したものの、人財関連経費の増等により、**増収減益**

・**流通業**は、前年度の大阪・関西万博効果の反動減が大きく、**減収減益**

・**不動産業**は、前年同期に大型の住宅分譲販売があったことの反動減に加え、施設リニューアルの影響等により、**減収減益**

■ 業績予想

・収益・費用ともに想定の範囲内で推移していることから、4月30日公表の予想を据え置き

■ 株主還元

・年間配当は1株あたり97.5円の予想を据え置き

2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2026年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	4,270	4,244	△ 26	99.4	【6期ぶりの減収】	18,290	△ 168	99.1
モビリティ業	2,562	2,646	84	103.3	運輸収入の増	10,970	△ 86	99.2
流通業	566	539	△ 26	95.3	物販飲食業の減	2,145	△ 181	92.2
不動産業	644	585	△ 59	90.8	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の減	2,830	△ 27	99.0
旅行・地域ソリューション業	431	405	△ 25	94.0		2,010	117	106.2
その他	66	67	1	101.6		335	9	103.0
営業費用	3,636	3,684	47	101.3		16,640	162	101.0
営業利益	633	559	△ 73	88.3	【6期ぶりの減益】	1,650	△ 330	83.3
モビリティ業	434	401	△ 33	92.4		1,005	△ 304	76.8
流通業	51	37	△ 13	73.6	物販飲食業の減	130	△ 32	79.9
不動産業	144	120	△ 23	83.4	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の減	455	△ 8	98.2
旅行・地域ソリューション業	△ 6	△ 7	△ 1	—		10	4	188.8
その他	8	5	△ 2	70.9		55	0	101.7
営業外損益	△ 36	△ 38	△ 1	—		△ 200	△ 56	—
経常利益	597	521	△ 75	87.3	【6期ぶりの減益】	1,450	△ 386	78.9
特別損益	35	10	△ 25	—	固定資産売却益の減	50	97	—
法人税等	135	135	△ 0	99.5		459	0	100.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	488	390	△ 97	79.9	【3期ぶりの減益】	1,000	△ 274	78.4

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

		2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	
				増減	比率		
モビリティ業		営業収益	2,562	2,646	84	103.3	・鉄道のご利用増
		営業利益	434	401	△ 33	92.4	・人財関連経費の増
流通業	物販・飲食	営業収益	506	481	△ 24	95.1	・万博効果の反動減
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【67】	【62】	【△ 5】	【92.3】	・万博効果の反動減
		営業利益	47	36	△ 10	77.6	
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【20】	【13】	【△ 6】	【67.5】	
	百貨店	営業収益	55	54	△ 1	97.5	
		営業利益	2	1	△ 1	40.4	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	329	271	△ 57	82.5	・住宅分譲販売の減
		【再掲:不動産販売】	【180】	【110】	【△ 69】	【61.3】	
		営業利益	58	44	△ 14	75.7	
		【再掲:不動産販売】	【19】	【△ 3】	【△ 23】	－	
	ショッピングセンター	営業収益	177	184	7	104.0	・SC売上高増による賃料収入の増
		営業利益	43	44	1	102.6	
	ホテル	営業収益	134	127	△ 7	94.6	・奈良ホテルリニューアルに伴う閉館
		営業利益	10	2	△ 8	21.2	
旅行・地域ソリューション業		営業収益	431	405	△ 25	94.0	・ツーリズム事業（企画商品販売）の減
		営業利益	△ 6	△ 7	△ 1	－	

※各セグメントの内訳は主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。なお、2025年度期末開示より連結上の科目・金額へ組替後の数値としており、2025年度第1四半期分も同様に組み替えております。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2026年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	2,536	2,592	55	102.2	【6期連続の増収】	10,560	△ 30	99.7
運輸収入	2,273	2,327	54	102.4		9,460	△ 19	99.8
運輸附帯収入	34	35	0	102.3		137	△ 3	97.2
関連事業収入	86	88	2	102.4		366	9	102.7
その他収入	141	140	△ 1	99.1		597	△ 16	97.3
営業費用	2,060	2,157	97	104.7		9,575	283	103.1
人件費	531	561	30	105.7	単価増	2,270	70	103.2
物件費	1,010	1,041	30	103.0		5,005	89	101.8
動力費	156	154	△ 1	98.9		700	81	113.2
修繕費	313	327	14	104.5	労務単価増	1,830	29	101.6
業務費	541	559	17	103.3	IT推進関連経費増	2,475	△ 20	99.2
線路使用料等	97	108	10	111.1	北陸新幹線の増	440	50	113.0
租税公課	101	104	3	103.2		430	13	103.2
減価償却費	320	342	22	107.0		1,430	58	104.3
営業利益	475	434	△ 41	91.3	【6期ぶりの減益】	985	△ 314	75.8

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入

(単位：億円、%)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2026年度 第1四半期	対前年		2026年度 第1四半期	対前年	
				増減	比率		増減	比率
新幹線	山陽	定 期	33	2	108.0	270	21	108.5
		定 期 外	1,100	40	103.8	4,580	90	102.0
		計	1,134	42	103.9	4,850	111	102.4
	北陸	定 期	5	0	108.7	40	3	108.3
		定 期 外	197	14	108.1	623	32	105.5
		計	203	15	108.1	663	35	105.7
	定 期		39	2	108.1	310	24	108.4
	定 期 外		1,298	55	104.4	5,203	123	102.4
	計		1,337	58	104.5	5,514	147	102.7
在 来 線	近畿圏	定 期	281	3	101.4	4,466	21	100.5
		定 期 外	510	△ 7	98.5	2,605	△ 30	98.9
		計	792	△ 3	99.5	7,072	△ 9	99.9
	その他	定 期	53	0	100.9	896	△ 1	99.9
		定 期 外	144	△ 0	99.5	679	0	100.0
		計	197	△ 0	99.9	1,576	△ 1	99.9
	定 期		335	4	101.3	5,363	19	100.4
	定 期 外		655	△ 8	98.8	3,284	△ 29	99.1
	計		990	△ 4	99.6	8,648	△ 10	99.9
合 計	定 期		374	7	102.0	5,674	43	100.8
	定 期 外		1,953	46	102.5	8,488	93	101.1
	計		2,327	54	102.4	14,163	137	101.0

※荷物収入は金額些少のため省略

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

			2026年度 第1四半期				
			対前年		主な増減要因		
			増減	比率			
新幹線	山陽	1,134	42	103.9%	基礎トレンド(104.8%)		+ 52
					特殊要因	・万博等前年反動	△ 48
						・インバウンド需要	+ 2
						・曜日配列	+ 8
						等	
	北陸	203	15	108.1%	基礎トレンド(105.0%)		+ 9
					特殊要因	・万博等前年反動	△ 10
						・インバウンド需要	+ 0
						・曜日配列	+ 1
						等	
新幹線計		1,337	58	104.5%			
在来線	近畿圏	792	△ 3	99.5%	基礎トレンド(101.0%)		+ 7
					特殊要因	・万博等前年反動	△ 13
						・インバウンド需要	△ 1
						・曜日配列	+ 2
						等	
	その他	197	△ 0	99.9%	基礎トレンド(100.3%)		+ 0
					特殊要因	・万博等前年反動	△ 2
						・インバウンド需要	△ 0
						・曜日配列	+ 1
						等	
在来線計		990	△ 4	99.6%			
運輸収入計※		2,327	54	102.4%			

※ 荷物収入は金額些少のため省略

7. 設備投資（出資含まず）

（単位：億円、％）

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	対 前 年		2026年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	456	414	△ 42	90.7	—
自己資金	450	404	△ 45	89.9	3,440
単体	227	192	△ 35	84.5	2,230
（安全関連投資）	(168)	(147)	(△ 21)	(87.2)	(1,470)
（その他）	(59)	(45)	(△ 13)	(76.5)	(760)
グループ会社	222	212	△ 9	95.5	1,210
負担金	6	9	2	143.8	—

※株式等への出資は含めておりません。

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（N700S・岡山山口近郊・新型事業用車）、保安防災対策（地震対策）等

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2025年度 期末	2026年度 第1四半期末	対前年	主な増減要因																																
流動資産	8,037	7,128	△ 909	未成工事支出金の増、販売用不動産の増 譲渡性預金の減、未収金の減																																
現金及び預金	1,811	1,999	188																																	
棚卸資産	2,055	2,386	331																																	
その他の流動資産	4,170	2,742	△ 1,428																																	
固定資産	31,829	31,871	41																																	
有形固定資産等	27,304	27,327	23																																	
建設仮勘定	967	927	△ 39																																	
投資その他の資産	3,558	3,615	57																																	
資産計	39,867	38,999	△ 867																																	
流動負債	7,772	6,379	△ 1,393	<table><tr><th></th><th>2025期末</th><th>2026.1Q</th><th>増減</th></tr><tr><td>有利子負債残高</td><td>16,264</td><td>16,409</td><td>145</td></tr><tr><td>【有利子負債平均金利(%)】</td><td>【1.43】</td><td>【1.54】</td><td>【0.11】</td></tr><tr><td>新幹線債務</td><td>946</td><td>946</td><td>－</td></tr><tr><td>【新幹線債務平均金利(%)】</td><td>【6.55】</td><td>【6.55】</td><td>【－】</td></tr><tr><td>社債</td><td>8,909</td><td>8,599</td><td>△ 309</td></tr><tr><td>【社債平均金利(%)】</td><td>【1.22】</td><td>【1.27】</td><td>【0.05】</td></tr><tr><td>その他長期借入金等</td><td>6,407</td><td>6,862</td><td>455</td></tr></table> 親会社株主に帰属する四半期純利益 390、配当 △239		2025期末	2026.1Q	増減	有利子負債残高	16,264	16,409	145	【有利子負債平均金利(%)】	【1.43】	【1.54】	【0.11】	新幹線債務	946	946	－	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】	社債	8,909	8,599	△ 309	【社債平均金利(%)】	【1.22】	【1.27】	【0.05】	その他長期借入金等	6,407	6,862	455
	2025期末	2026.1Q	増減																																	
有利子負債残高	16,264	16,409	145																																	
【有利子負債平均金利(%)】	【1.43】	【1.54】	【0.11】																																	
新幹線債務	946	946	－																																	
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】																																	
社債	8,909	8,599	△ 309																																	
【社債平均金利(%)】	【1.22】	【1.27】	【0.05】																																	
その他長期借入金等	6,407	6,862	455																																	
1年内返済予定長期借入金等	1,197	995	△ 201																																	
未払金等	6,575	5,383	△ 1,191																																	
固定負債	18,722	19,078	355																																	
社債・長期借入金等	14,973	15,292	319																																	
退職給付に係る負債	1,574	1,600	26																																	
その他の固定負債	2,174	2,184	10																																	
負債計	26,495	25,457	△ 1,037																																	
株主資本	11,635	11,798	162																																	
資本金	2,261	2,261	－																																	
資本剰余金	1,839	1,839	－																																	
利益剰余金	7,547	7,710	162																																	
自己株式	△ 11	△ 11	△ 0																																	
その他の包括利益累計額	441	442	1																																	
非支配株主持分	1,295	1,301	6																																	
純資産計	13,372	13,542	170																																	
負債・純資産計	39,867	38,999	△ 867																																	

9. 各種経営指標

(単位：％、億円、人)

	2025年度		2026年度	
	第1四半期	期末	第1四半期	期末（予想）
連結ROIC	－	5.0	－	3.9
連結ROE	－	10.8	－	8.1
連結EBITDA	1,054	3,759	1,000	3,530
連結減価償却費	421	1,778	440	1,880

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	47,390	22,509	47,225	22,524	48,918	23,414	－	－
金融収支	△ 45	△ 36	△ 201	△ 182	△ 51	△ 42	－	－
受取利息・配当金	5	19	15	53	10	26	－	－
支払利息	51	55	217	236	61	68	－	－

ネット有利子負債／EBITDA	－	3.7倍	－	－
自己資本比率	－	30.3%	31.4%	－
1株当たり四半期(当期)純利益（EPS）	104.54円	277.73円	85.80円	219.74円
1株当たり純資産（BPS）	－	2,653.81円	2,689.90円	－

	2025年度		2026年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	45.0円	52.5円【97.5円】	48.5円	49.0円【97.5円】

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2026年8月5日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2026年8月5日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>